

令和2年第10回木島平村教育委員会定例会会議録

1 開催日時 令和2年10月28日(水) 15:30～16:37

2 場 所 木島平村役場 議員控室

3 出 席 教 育 長 小林 弘
教育長職務代理者 佐藤 秀雄
委 員 本山三智子
委 員 月岡 英彦
委 員 佐藤小百合(欠席)

4 出席した事務局職員

子育て支援課長 島崎かおり
生涯学習課長 高木 良男
生涯学習係長 大口 晴男(欠席)
子育て支援係長 武田 幸一

1 開 会 午後3時30分

2 前回会議録朗読承認（署名）

令和2年9月23日開催の第9回木島平村教育委員会定例会会議録を島崎子育て支援課長が朗読し、出席者全員が内容を確認のうえ、全員が承認し署名した。

3 教育長報告

10月の校長園長会を初めてウェブ会議で行った。次回もウェブ会議で実施する予定。

【校長園長会から】

- (1) 引き続き「ウィズコロナ」で基本的な感染予防対策の徹底。新聞報道から、昨年9月のインフルエンザの罹患者は全国で15,000人に対し、今年の同時期ではたったの11人だった。手洗いやマスク着用も一つの要因と考えられる。
- (2) 「入学者選抜学力検査の結果と考察」から、中学校では早めに対策をしてほしい。
- (3) 市町村教育委員会連絡会から
 - 教職員の非違行為の根絶について
 - ・わいせつな行為の根絶、2018年全国でわいせつ行為282人、そのうち懲戒免職処分163人・飲酒運転の根絶、飲酒運転の発生は組織のゆるみ
 - ・スクールハラスメントの防止、学校管理職の配慮を欠いた言動等の相談が今年度において15件寄せられている。人権感覚の見直しを。
 - 特別支援学級に係る課題について
 - ・計画的な教員配置を行う。
- (4) GIGAスクール構想1人1台端末について、12月25日の納期を控え日常的に活用できる体制づくりをする。
- (5) 教育施設の「集中豪雨・土砂災害に係る緊急避難マニュアル」を10月に策定。
- (6) 学校でも常に危機管理と報・連・相の徹底。空振りでも最悪の事態を想定した行動を。
- (7) 岳北地域高校の魅力づくり研究協議会の第1回、第2回を通した農林高校部会からの意見・提案についての報告。
- (8) 常に人権意識を持つこと。

【園長会から】・小学校4年生が総合の学習で猿田彦神社境内にある池を使用しているの、池に注意すること。保育園での、新型コロナウイルス感染症に係るマニュアルを策定した事を報告説明した。

4 協 議

(1) 木島平村教育大綱 概要版について

小林教育長

それでは、4番目の協議事項に入ります。木島平村教育大綱 概要版について、課長の方から説明をお願いします。

○資料1に基づき説明

島崎課長

A3版のカラー刷りの資料をお願いいたします。木島平村教育大綱の概要版についてですが、今日も一緒にお配りしました全文もありますが、全文を1枚にまとめたものでございます。真ん中に基本構想がありまして、その下に基本理念があります。緑色の枠の中に、施策の概要という事で1番から8番まであります。そして、それぞれの項目については、青色のところのくくりでお示ししてあります。更にそれを進めるために、どうしたらいいかという事でそれぞれ項目でお示ししてあります。これにつきましては、見やすいものがあつたらいいのではとの事で、議員からも話がございました。今、村のホームページには教育大綱の全文を掲載しておりますが、今回、教育委員の皆様にご確認をいただきまして、いったん教育委員さんにお返しをして中身をご確認いただき、来月の定例会の中で決定をしていきたいと考えております。決定後、村のホームページに11月中に掲載をしていきたいと考えております。よろしく申し上げます。

小林教育長

今、課長の方から話がありましたが、この概要版を作るまでの経過、そしてまたそれを村のホームページにアップするまでの手順等説明がありました。皆さんの方で

見ていただいて、何かあったらお願いしたいと思っております。大きな9ページにわたる教育大綱にある文言を変えてここへ載せたという事はありません。長いものは少し短くしたという事がありますが、新たに入れて込んだという様な項目はないわけであります。ただ、1カ所訂正があります。左側、大きな2番の(2)、「コミュニティ・スクールの展開」のその上3つ目「ルクセンブルグ」とありますが、濁らなくて「ルクセンブルク」という事で、訂正をお願いいたします。今現在、何か気がついて何かありますでしょうか。これを作っているのは、この周辺では飯山市、中野市、山ノ内町という事で、他のところはA3版が2枚にわたっていたりというのがあるので、ちょっと見づらいので、できるだけ大きなA3版1枚に全部網羅するわけにはいきませんが、この形で載せたらどうかという事であります。どうでしょうか。誤字、脱字または間違っているようなものも含めて。これは本当は、6、7、8の辺ももう2行ぐらいスペースがあって入れればいいのですが、そうなると2枚になってしまい大きなタイトルだけの形になって、十分伝わらないところがありますが、この概要版をホームページで見た人は、さらに確認するには9ページある全文を見ていただくと細かく説明されておりますので、そうゆうための、概要版であります。次回に議事として、今日は協議議題であります但皆さんの方で見ていただいて、よいとなったところでホームページに載せていきますのでよろしくをお願いいたします。

5 報告

(1) 保育園、小中学校の状況について

島崎子育て支援課長が、資料1-1に基づき保育園及び小中学校の状況について報告した。また、熊対応臨時のスクールバス増便の運行期間の延長について報告した。

佐藤職務代理者

この教育大綱は、令和6年、つまり2024年までという事ですので、その間こんな方向性と考えていいんですよね。目指す方向ですね。法律的にどうのこうはないんですよね。大綱という意味合いですが。

小林教育長

大綱は、それぞれの自治体で作らなければならないという事務的なものはありますが、5年間ですから5年間の中でいろいろな世の中が変わってきます。この間の課長会議でも、特に村長からも「オンライン」という文言ないけどどうなんだと、ゆう様な話がありました。これを審議していた頃は去年の11月、12月、1月で「オンライン」というのが一機に出てきたのが3月、4月その頃でありますのでICT利活用の範疇に入る訳ですが、その様な事も今後変えていかなければならない事は、これに補修するわけではなく多少の微調整も含めながら、総合教育会議は毎年行われるので、そんなところでも検討していく方向ではないかなと受け止めています。まるまる5年間これで行くんだという、そんな理解をしてもらえばいいかと思います。

小林教育長

子どもの事で何かありますか。

本山委員

私、運動会にも参加してなくてちょっと恐縮ですが、子どもたちの様子を見る機会が減ったことと、私たち自身が子どもの心のこととか家庭のこととか、アンテナがちゃんと張っていればいいんでしょうけど、見えにくくなっているなというのは感じますので、学校の現場から見てお子さんの様子それから、家庭の様子みたいなもので多分コロナの前と後では、子ども自身の心もだいたいお家の家庭の様子もだいぶ変わっていると思うんですよね。もうちょっとこうゆう手だて、援助がほしいとか何かそうゆう声が聞こえてくればですが、それが今、自分で何ができるかがよくわからないんですけど、そうゆう面で配慮していかなければいけないなという事をすごく感じました。何か「ずーっと子どもが外へも行けないしどこ

も行けないでしょ。」っていうのをお母さん達がつぶやきながら自分もストレスがたまるし、子ども達もたまるし、「じゃあ、どこかへ出かけましょう。」って訳には行かないし、「夏休みどうしよう。」という話をされて今度、秋になってお正月になるけど遠くからは行けない、これない。なんかそうゆうので行き詰ってる感じの話が少し聞こえてきたので、何か光が見えるようないい手だて、改善策みたいなものを提案するまではいかないにしても、「こんな事したらどうでしょう。」という、お子さんとお家の人でとか。ストレス解消になるのか、子どもの心が発散できるのか、そうゆうことが見えてくるといいなと思います。直接子どもと関わる機会が少ないからなお、毎日お子さん見ているお母さんやお家の人どんな感じかな、というのが心配しています。

小林教育長

実際、教育委員の皆さん、運動会とかいろいろな行事の出席者の制限という形で出席されない今年は非常に多くて、子ども達の普段の様子をなかなか見られない、というような事。今週、音楽会もある訳であります。

本山委員

何か子どもの様子、違っているんじゃないかなという心配があるので、どんな場面から私たち協力できるか、お家の人のお悩みや子どもの悩みに寄り添えるというか、いいことあるといいなと思います。家にばかりいて「こんなゲームばかりね。」というそうゆう悩みもあるかも知れないし。

小林教育長

実際、今の二つの面から考えると教育委員の皆さんの側からすれば、学校の行事とかなかなか行く機会がないし、子どもの様子を見る機会がなくなっているのもうひとつは、子ども達自身、親と子どもとの関係で家から外へそんな様なことがなかなか、実際に教育委員会ですらどうという事はできないのですが4ページにもありましたように、宿泊で昼神温泉、池の平、こちらの方へ小学生が行って来たりして非常に楽しかったようです。中

学も安曇野の方へ日帰りでしたが行ってきました。飯山市は、泊まるのは飯山市という事で千曲川のカヌー体験をして、飯山市から外へ行かないで中で修学旅行の代替をとということ。諏訪市の方では、諏訪湖へ行き地元で修学旅行をとということもあって、村の方は安曇野の方へ行ってきて、小学生本当にいい体験をしてよかったなと思っております。外へ出るという事は本当に楽しみですよね。

月岡委員

うちも孫がいますが、どうも娘から話聞くとコロナが原因なのか親子の間もだいぶ疲れ切って、登園するにも渋ってみたりとか、今までそうゆうことなかったんですが。かと言っていままでこうゆう経験は全く今までにないので、どう対応すればいいのか名案は浮かばないのですが、今、私たちも一部の役員さんをお願いして小学生の音楽会にしても、いろいろな面でもこれからやらしてもらいますが、どうゆうふうになっているのか、今子ども達どんな状況なのかなと直接目で見てないので、想像でしかないのですが学校の先生方も頑張っているいろいろ考えてほしいと思っているのが、思い出に残るような、私たちいろいろなこと体験して卒業してきたのですが、今の保育園、小学校、中学校の生徒も形は変わっても経験はさせてもらってはいるのですが、もっと内容あるのも数多くとか、何かいい方法で変わった卒業式を私たちはやったよ、だけど心に残っているよという様な何かそうゆう様な行事だとか、案が出たらいいかなと思っています。

小林教育長

コロナと一緒に生活していかなければならないという事で、後で高木課長から「差別をなくす村民大会」その辺のところも実際やるのですが、その辺のところもお願いします。

高木課長

事業は、限りなく密にならないようにという方向を常に意識してやらなければならないですし、現場の感染症

対策もやはりこの間のノルディック大会の時にお手伝いいただいたときに、体験いただいたと思いますが、サーマルカメラを設置したりしながらという事ですが、なかなかウイルスを持って来られている皆さんというのはわからないんですよ。発症していないだけで。そこが未知数ですから、いろいろなイベント事業やる時に対策はしても、対策をするという事とウイルスを保持しているという事は全く違う話なので、そこは非常に難しい。かと言って、また外へ出る機会とかそういったものもなくなってしまうので、どこかでスイッチを入れなければいけないという事ですよ。

小林教育長

実際に、村民体育館マックス入る、今までも120名ぐらい講演会で見えております。今年は、ある程度の密を避けるという対策面では、何人ぐらい？

高木課長

今まで200人超えていて今回は、100人以下です。

小林教育長

一応の対策をやるけども、それなりきになんとかこうゆう世情であっても、できる方法はないかというそんな所であります。

6 その他

(1) ・当面の日程（諸行事・会議等）

島崎子育て支援課長が、当面する諸行事・会議等について説明した。

島崎子育て支援課長が、令和2年度第11回教育委員会定例会の開催日程について提案した。全委員が了承し、「令和2年度第11回教育委員会定例会を令和2年11月25日（水）午後2時30分から開催することを決定した。

- ・高木生涯学習課長が、10月の生涯学習課の事業実績について報告した。

- ・島崎子育て支援課長が、資料 2 に基づき令和 2 年度長野県市町村女性教育委員連絡協議会研修会の中止について説明した。
- ・島崎子育て支援課長が、資料 3 に基づき令和 2 年度市町村教育委員会オンライン協議会について説明した。

(2) その他

- ・島崎子育て支援課長が、資料 4 に基づき調布市教育委員会委員の就任について報告した。
- ・島崎子育て支援課長が、資料 5 に基づき飯山市教育委員会教育委員異動報告について報告した。
- ・島崎子育て支援課長が、資料 6 に基づき山ノ内町教育委員会教育委員異動報告について報告した。
- ・島崎子育て支援課長が、資料 7 に基づき令和 3 年関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会及び研修会（千葉大会）について説明した。

8 閉 会 午後 4 時 3 7 分

小林教育長が閉会を宣言した。